

社会人になるということ・・・

皆さんは社会人になるということをいつごろからイメージされていましたか。

小さいころからの夢を追い続けていましたか？

就職活動の時期が来て慌てて・・・なんて方もいるのではないのでしょうか。

障がい、、、主に知的障がいを持っている私たちの多くが特別支援学校高等部へと進学し、入学と同時に社会参加への訓練（授業）が始まります。多くの学校では2年生になると施設実習、いわゆるインターンシップが始まります。限られた時間、限られた施設での実習。わずか16歳です。

このような授業・実習を経て、少しずつ少しずつ時間をかけて社会人としての歩みが始まるのです。

私たちの多くが卒業後の進路に福祉施設を選びます。18歳、社会人デビューです。

いぶきでは誰もが持っている「苦手」に挑戦し続け、「苦手」を認め合い、補い合って作業を行っています。

私たちが社会人として活躍している証・・・それは、いぶきクッキーです。

社会の一員として認められ、共に育ってきた地域の中で真心こめて作っています。

目の前にある仕事に精を出し、休憩時間には他愛もないおしゃべりに花を咲かせる姿は、皆さんと何ら変わりありません。